

# トンネル内装塗装(視線誘導)施工手順書

\* 施工には協会の講習受講が必要となります。

内 容	既設コンクリート 監査路下 直塗塗装
塗装仕様	素地調整
	下塗り セラマックス#3000
	上塗り セラマックス#3000

一般社団法人 無機質コーティング協会



### No.1 施工前状況

漏水、ひび割れ、断面修復等を確認

必要に応じ、材料検収



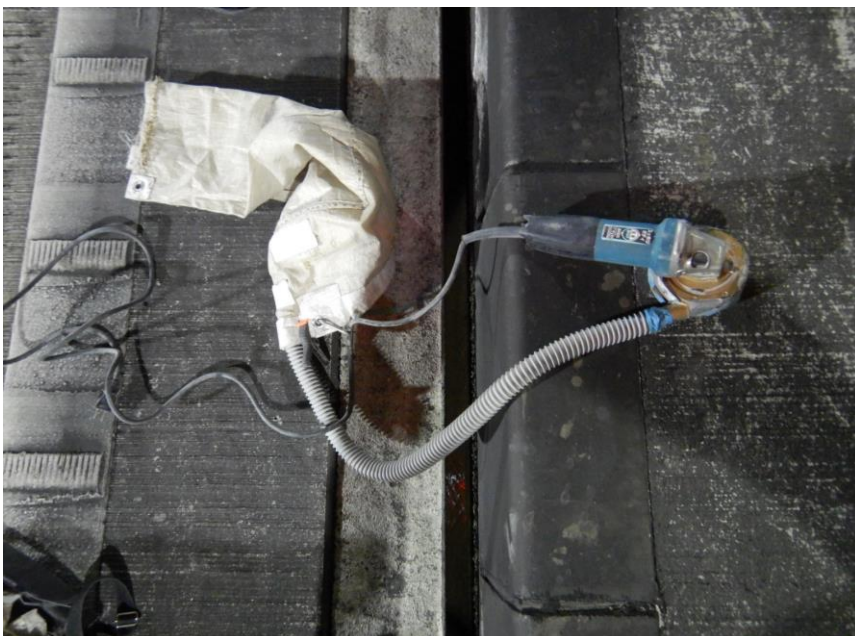
### No.2 ケレン

バリ、付着物、離型剤等の除去

含侵を阻害するものは完全除去

塗装面エアブローによる清掃

(特に巣穴に入ったほこりを除去)



### No.3 ケレン道具

ディスクサンダー

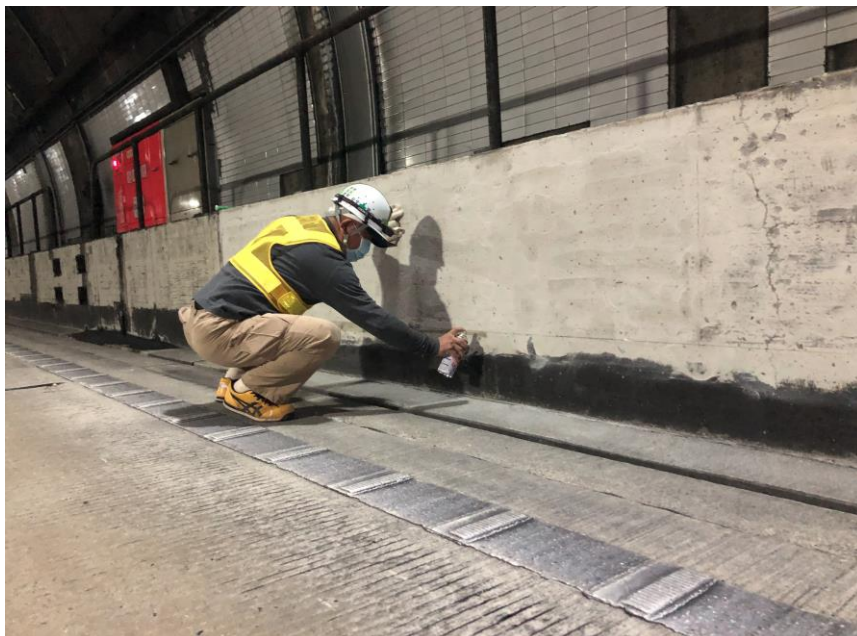
(必要に応じ集塵機付き)

推奨

アートサンダーF(大塚刷毛製造)

アートカップ(赤)

新設はランダムサンダー(#40)



#### No.4 養生①

---

テープの付着を良くするため、  
のりスプレー塗付

.....

.....

.....

.....

.....

.....



#### No.5 養生②

---

塗料のかいくぐりを防ぐため、  
テープをしっかりと押し付ける  
(ローラ等で押し当てる)

.....

.....

.....

.....

.....

.....



#### No.6 養生③

---

地面への飛散を防ぐため、  
マスキングテープを使用

.....

.....

.....

.....

.....

.....



#### No.7 養生④

風が強い場合は、  
飛散しないよう処置を行う



#### No.8 塗装前確認①

気温 5°C以上  
湿度 85%以下を確認



#### No.9 塗装前確認②

含水率 8%以下を確認  
結露がないことを確認



#### No.10 材料攪拌

電動攪拌機にて5分攪拌

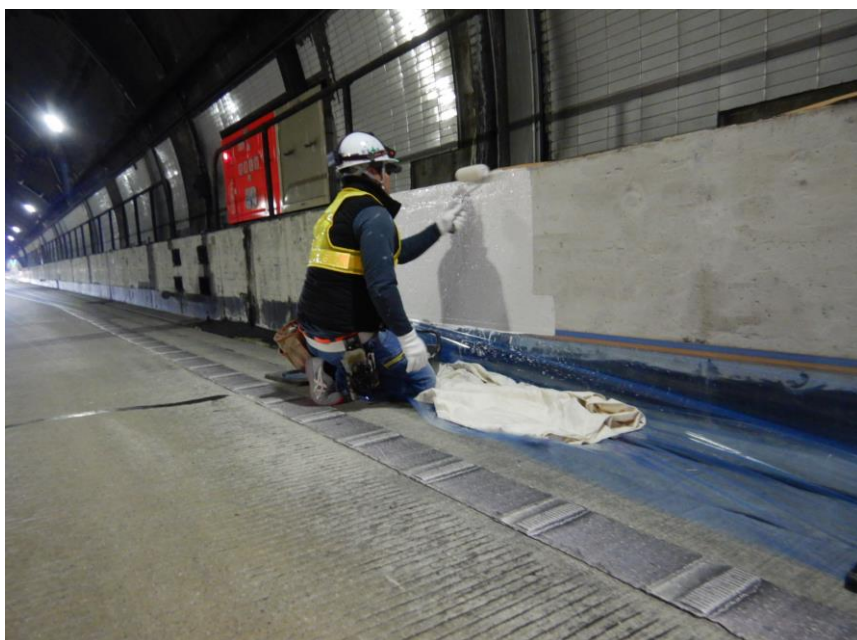
泡嚙みしないよう低速回転

顔料が沈殿しているので缶底より攪拌

攪拌不足で上澄みを使用すると、

隠ぺいや付着に影響が出る。

下塗・上塗同様



#### No.11 下塗①

セラマックス#3000 下塗

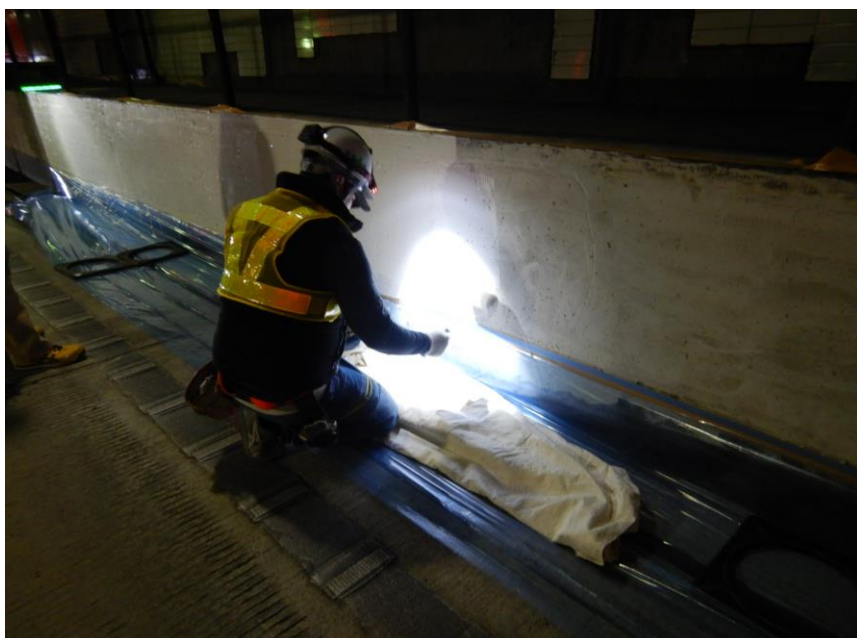
塗付量 200g/m<sup>2</sup>

巣穴にも入れ込む

ローラは下⇒上がよい

(場合により刷毛で拾う)

推奨毛丈 20~23mm



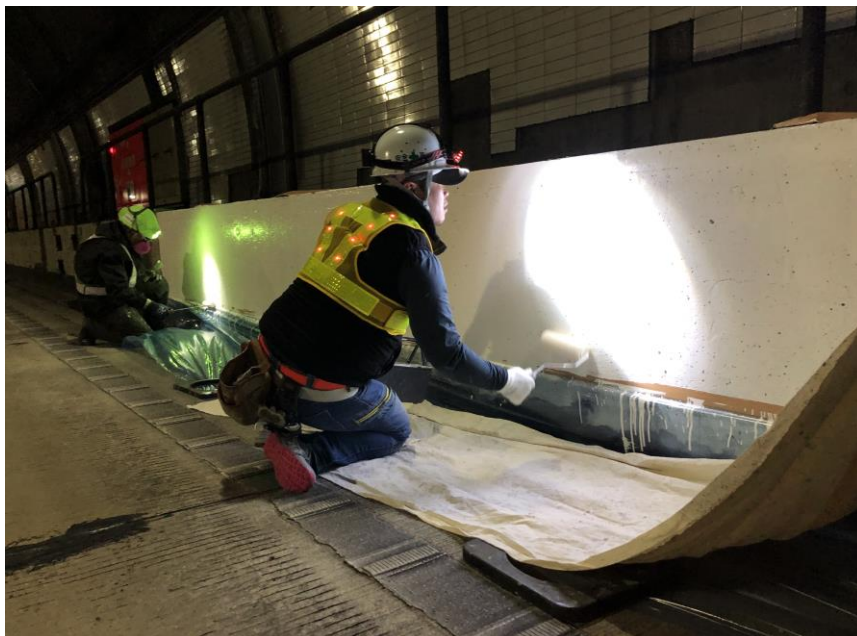
#### No.12 下塗② 仕上げ

コンクリートによる、

吸込みがある部分、

スケがみられる部分を

確認し、塗り込みを行う



### No.13 上塗①

塗装間隔約2時間～24時間

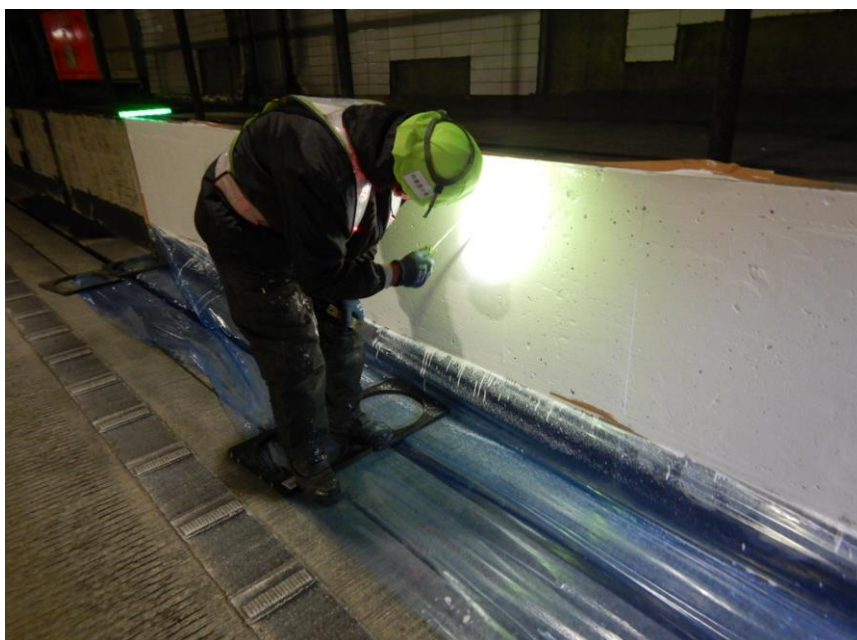
(指触乾燥を確認)

\* 24時間以上置いた場合は全面目粗し

セラマックス#3000 上塗

塗付量 180g/m<sup>2</sup>

推奨毛丈 20～23mm

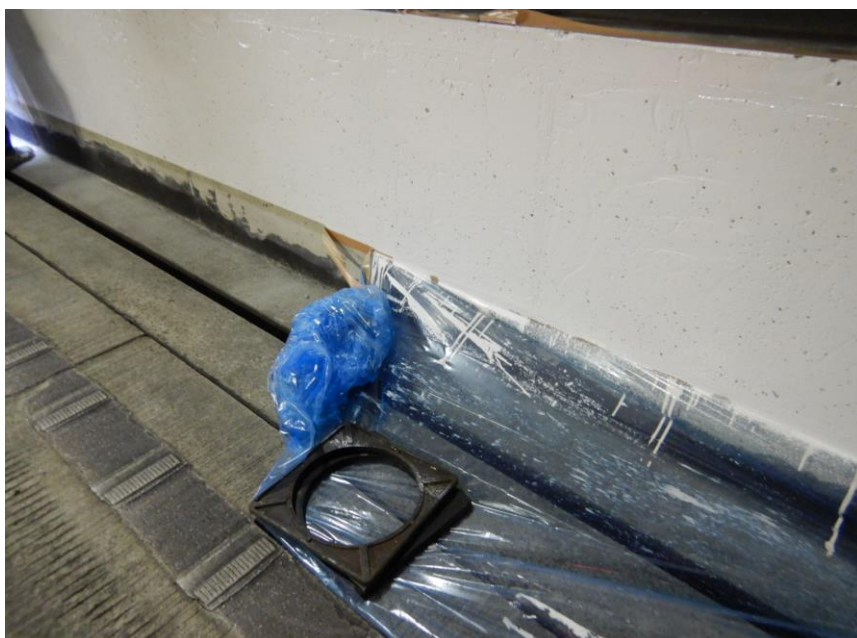


### No.14 上塗② 仕上

塗付後、

吸込み、塗装ムラ

スケがみられる部分を確認・塗装



### No.15 養生撤去・清掃

塗装面が乾燥するまでに撤去



No.16 施工完了

必要に応じ空缶検収

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---